

〔復刻版〕全39巻・別冊1
大正二年～昭和二〇年
全8回配本
掲定価＝本体762、000円+税

不二出版

日本力行会の宝庫、待望の復刻! 力行世界

移民情報の宝庫、待望の復刻！

配本	巻	年月	本体価格	刊行時期
第1回	第1巻	大正2年1月～11月	75,000	2012年11月 ISBN978-4-8350-7302-6
	第2巻	大正4年2月～5年12月		
		「力行」明治36年～40年 「力行タイムス」 明治44年～45年		
	第3巻	大正6年1月～10年10月		
第2回	第4巻	大正10年11月～11年12月	95,000	2013年2月 ISBN978-4-8350-7306-4
	第5巻	大正12年1月～13年5月		
	第6巻	大正13年6月～12月		
	第7巻	大正14年1月～12月		
	第8巻	大正15年1月～12月		
第3回	第9巻	昭和2年1月～6月	95,000	2013年6月 ISBN978-4-8350-7312-5
	第10巻	昭和2年7月～12月		
	第11巻	昭和3年1月～6月		
	第12巻	昭和3年7月～12月		
	第13巻	昭和4年1月～6月		
	別冊	解説・総目次・索引		
第4回	第14巻	昭和4年7月～12月	95,000	2013年10月 ISBN978-4-8350-7319-4
	第15巻	昭和5年1月～4月		
	第16巻	昭和5年5月～8月		
	第17巻	昭和5年9月～12月		
	第18巻	昭和6年1月～4月		
第5回	第19巻	昭和6年5月～8月	95,000	2014年2月 ISBN978-4-8350-7325-5
	第20巻	昭和6年9月～12月		
	第21巻	昭和7年1月～4月		
	第22巻	昭和7年5月～8月		
	第23巻	昭和7年9月～12月		
第6回	第24巻	昭和8年1月～4月	95,000	2014年6月 ISBN978-4-8350-7331-6
	第25巻	昭和8年5月～8月		
	第26巻	昭和8年9月～12月		
	第27巻	昭和9年1月～4月		
	第28巻	昭和9年5月～8月		
第7回	第29巻	昭和9年9月～12月	95,000	2014年10月 ISBN978-4-8350-7337-8
	第30巻	昭和10年1月～5月		
	第31巻	昭和10年6月～12月		
	第32巻	昭和11年1月～12月		
	第33巻	昭和12年1月～12月		
第8回	第34巻	昭和13年1月～12月	117,000	2015年2月 ISBN978-4-8350-7343-9
	第35巻	昭和14年1月～11月		
	第36巻	昭和15年1月～12月		
	第37巻	昭和16年1月～12月		
	第38巻	昭和17年3月～18年5月		
	第39巻	昭和18年6月～20年12月 「力行網」昭和5年～9年		

〒113-0023
東京都文京区向丘1-2-12
電話03-3812-4433
ファクシミリ03-3812-4464
振替001160-2-94084

2012/10

表示価格はすべて税別

後編

全39巻+別冊1

◎体裁＝A5判・B5判(第39巻)・B4判(第2・3巻)／上製／総20、500円

◎別冊＝解説・総目次・索引(分売価格3、000円+税)

ISBN：978-4-8350-7350-7

○解説＝和田 敦彦(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

○推薦＝飯田耕二郎(大阪商業大学総合経営学部教授)

根川 幸男(ラジリア大学文学部准教授)

日比 嘉高(名古屋大学大学院文学研究科准教授)

平井 廣一(北星学園大学経済学部教授)

○原本提供＝財団法人日本力行会、東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫

○定価＝762、000円+税

推薦します

金華縣志

第一級の海外移民・地理情報誌



今から三〇年近く前に、同志社大学人文科学研究所のメンバーとして日本力行合した『力行世界』は、現在も続いている日本力行会の機関誌である。

会を初めで訪れた。そこでこの『力行世界』をはじめ、種々關係の資料が豊富に所蔵されていたのが非常な驚きであった。以来、小生はたびたび力行会を泊まり込みで訪れ、第一次史料をじかに触れて調査研究する喜びを感じたものであった。

とくに『力行世界』はアヘン六合衆国をはじめとする南北地域、アラブ・シルを中心とする南米地域、さらには満州、朝鮮や南洋方面に移民を送り出した力行会のメンバーが、直接これらの地域の現地情報を掲載したりするなど、会員同士の情報交換の手段となつたばかりでなく、一般の書店でも販売されてベスト・セラーにもなつた。この雑誌を読んで海外渡航を志した者も多かつたという。またこれにより大正・昭和期における当該地域をはじめとする世界の貴重な地理的情報がもたらされたことは言うまでもない。

このたび『救世』に続き、明治以後の日本人の移民史に重要な役割を果たした

聞き、大変喜ばしく思う。近代の移民史のみならず、民衆史、歴史地理、外国地誌に関心のある人は、ぜひこれを機会にこの貴重な情報誌に身近で親しんでいただきたいと思う。またこれを活用した研究が今後さかんになることを願つてゐる。

には、こうした人びとの便りがしばしば掲載されている。船内での生活、まだ見ぬ土地への希望と不安、寄港地で見ためずらしい風物、耕地での日常、信仰、異国での学校生活など、さまざまな体験が活字を通して語りかけてくるのである。

それは、十数年前、無給の研究員としてブラジルに渡った頃の自分を思い起こさせる。お金も仕事もなく、異国での前途が茫漠として感じられる、あのじりじりとした希望と不安がないまぜになつた気分：半世紀以上前の力行青年たちの声に耳を傾けることは、まるで若い日の自分の記憶を呼び返しているかのような思いいに駆られるのである。

希望と不安と熱氣に満ちた時代の若者たちの思いと生き様がより多くの人ひとに届き、移民研究の重要性が認識されることを期待してやまないのである。

『力行世界』を推薦する —日本移民史・教育史・キリスト教史研究 の発展のために

平井廣一
（北星学園大学経済学部教授）

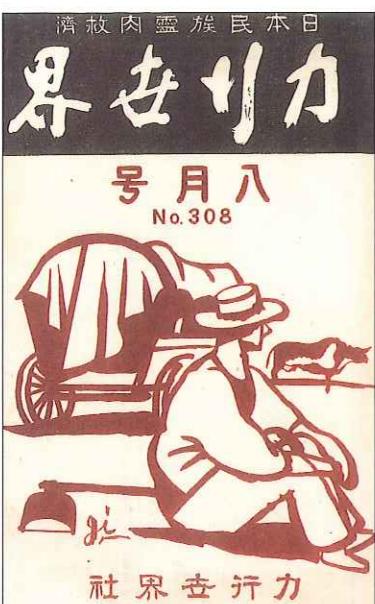
浮かび上がる 環太平洋規模のネットワーク

日比嘉高（名古屋大学大学院文学研究科准教授）

存在は大きい。同会の用意した組織網、各種学校、メディアは、国内の人々に広く呼びかけて、北美、南米、あるいは旧満洲などへと誘い、そして渡航した後も移住地の人々を支援し続けた。だが、その活動の実体に迫ろうとするとき、研究者は資料的な制約に直面する。機関誌『力行世界』は、広く販売された通常の雑誌と異なり、現在では公立図書館、大学図書館の所蔵が極端に少なく、断片的だった。今回の復刻により、研究者はようやくその全貌に容易に接することができるようにになる。

るようになる。

したり、渡航を呼びかけたりする記事が多いのは当然だが、それ以外の読み物も充実している。『力行世界』は、移民地にいたアマチュア文士たちの作品発表の舞台でもあったのだ。短編小説、連載小説、評論、日記、紀行、詩、短歌、俳句などが、各移民地の案内記や紹介記事、時事評論や植民関係の論説に混じって掲載されている。北米ロッキー山脈の月眺めながら故郷を思つた短歌「アメリカの絡機山に照る月は大和島根のあけぼのの月」（宮崎雪山、一九二五年二月号）があると思えば、遙かブラジルから星空を見上げた「銀漢の南の涯の十字星」（岩波ワーク、一九三一年二月号）の句もある。日本力行会の広げた環太平洋規模のネットワークが誌面上に浮かび上がつてくるのも、『力行世界』というメディアの魅力



台湾はまで広く及んでいる
このたび、戦前期の『力行世界』
が復刻されることになった。この
貴重な資料が広く利用されて、日
本移民史研究はいうまでもなく、日
本教育史やキリスト教史研究が進展
することを願つてやまない。

一、力行高等海外學校學則					
第一回 勉強の意					
但教習外語等皆行け 第一課 文長の教習の意を察する學業の發達と改進 移動の意を察する事に於ては、必ずマテラクス等の改進スルより得るトメ					
第二回 德國留學記述書目					
第三回 本校の實績 研究科の特徴三種を定義					
第四回 本校の特徴と外國の教育問題ハノノ如キ					
第五回 研究科の特徴二種(講義と實驗)ハニカ 第六回 講義と實驗ハノノ如キ					
第七回 講義と實驗ハノノ如キ 第八回 講義と實驗ハノノ如キ					
第九回 講義と實驗ハノノ如キ 第十回 講義と實驗ハノノ如キ					
第十五回 講義と實驗ハノノ如キ 第十六回 講義と實驗ハノノ如キ					
第十七回 講義と實驗ハノノ如キ 第十八回 講義と實驗ハノノ如キ					
第十九回 講義と實驗ハノノ如キ 第二十回 講義と實驗ハノノ如キ					
第二十一回 講義と實驗ハノノ如キ 第二十二回 講義と實驗ハノノ如キ					
第二十三回 講義と實驗ハノノ如キ 第二十四回 講義と實驗ハノノ如キ					
第二十五回 講義と實驗ハノノ如キ 第二十六回 講義と實驗ハノノ如キ					
第二十七回 講義と實驗ハノノ如キ 第二十八回 講義と實驗ハノノ如キ					
第二十九回 講義と實驗ハノノ如キ 第三十回 講義と實驗ハノノ如キ					
第三十一回 講義と實驗ハノノ如キ 第三十二回 講義と實驗ハノノ如キ					
第三十三回 講義と實驗ハノノ如キ 第三十四回 講義と實驗ハノノ如キ					
第三十五回 講義と實驗ハノノ如キ 第三十六回 講義と實驗ハノノ如キ					
第三十七回 講義と實驗ハノノ如キ 第三十八回 講義と實驗ハノノ如キ					
第三十九回 講義と實驗ハノノ如キ 第四十回 講義と實驗ハノノ如キ					
第四十五回 講義と實驗ハノノ如キ 第四十六回 講義と實驗ハノノ如キ					
第四十七回 講義と實驗ハノノ如キ 第四十八回 講義と實驗ハノノ如キ					
第四十九回 講義と實驗ハノノ如キ 第五十回 講義と實驗ハノノ如キ					
第五十五回 講義と實驗ハノノ如キ 第五十六回 講義と實驗ハノノ如キ					
第五十七回 講義と實驗ハノノ如キ 第五十八回 講義と實驗ハノノ如キ					
第五十九回 講義と實驗ハノノ如キ 第六十回 講義と實驗ハノノ如キ					
第六十五回 講義と實驗ハノノ如キ 第六十六回 講義と實驗ハノノ如キ					
第六十七回 講義と實驗ハノノ如キ 第六十八回 講義と實驗ハノノ如キ					
第六十九回 講義と實驗ハノノ如キ 第七十回 講義と實驗ハノノ如キ					
第七十五回 講義と實驗ハノノ如キ 第七十六回 講義と實驗ハノノ如キ					
第七十七回 講義と實驗ハノノ如キ 第七十八回 講義と實驗ハノノ如キ					
第七十九回 講義と實驗ハノノ如キ 第八十回 講義と實驗ハノノ如キ					
第八十五回 講義と實驗ハノノ如キ 第八十六回 講義と實驗ハノノ如キ					
第八十七回 講義と實驗ハノノ如キ 第八十八回 講義と實驗ハノノ如キ					
第八十九回 講義と實驗ハノノ如キ 第九十回 講義と實驗ハノノ如キ					
第九十五回 講義と實驗ハノノ如キ 第九十六回 講義と實驗ハノノ如キ					
第九十七回 講義と實驗ハノノ如キ 第九十八回 講義と實驗ハノノ如キ					
第九十九回 講義と實驗ハノノ如キ 第一百回 講義と實驗ハノノ如キ					

苦学大行の
寺代こ思

時仕に思ひをはせて

◀第四八三～四八六合併号（昭和二〇年九月発行）

力りき世界

新高天原建設

日本力行會長

永田 利一

得心券の旅

海外渡航者

はしがき

航運

第三一三号（昭和六年一月号）

▼第三一三号（昭和六年一月号）

得心券の旅

日本力行會

永田 利一

はしがき

航運

第三一三号（昭和六年一月号）

日本力行會 全2卷・別冊1

明治28年（明治29年第一次）／明治32年（明治44年第二次）

体裁——A5判・B4判／上製本／総762頁
別冊解説（和田敦彦）・総目次・索引〔分売価格1,000円＋税〕
推薦坂口満宏／竹内洋／出村彰
刊行——2012年7月（復刻版）
価格——48,000円＋税

『救世』は、日本力行會を設立した島貫兵太夫が、一八九五（明治二八）年に創刊した伝道誌である。キリスト教の伝道活動、事業についての論説、報告を主に伝え、また同会が苦学生の救済を活動の端緒としたことから、苦学生の救済情報も豊富に掲載している。さらに、日本力行會は救済の地を米国に拓き、苦学生の渡米を勧めながら『渡米新報』を刊行、一九〇九年五月に『救世』が『渡米新報』を吸収してからは、海外事情や海外在住会員の情報が豊富に掲載されるようになる。現在、財團法人日本力行會所蔵の五二号分のみが確認されている稀観書である。明治期キリスト教史、教育史、移民史を補完する重要な資料である。

外務省通商局 全10巻・別冊1
大正11年（昭和6年刊）体裁——A5判／上製本／総4,810頁
別冊解説（柳田利夫）・総目次〔分売価格1,000円＋税〕
刊行——1999年11月（2000年12月復刻版）
価格——191,000円＋税

移民地事情

外務省通商局 全2卷・別冊1
大正11年（昭和6年刊）

外務省通商局は、海外の領事館からの報告を『通商公報』として定期的に公表した。『移民地事情』はその中から、中南米地域（ブラジル・アルゼンチン・ボリビア・メキシコ・コロンビア・チリ・パラグアイ・ウルグアイ等）についての、日本人移民地の「視察報告」を取りまとめ、不定期で全二七冊刊行された。これらの各地域には、すでに日本人移民が相当数定住しており、その地の詳細な地図や写真とともに、彼らの生活状態を報告した本書は、移民受け入れ国の実情と、移民の実態を知る貴重な資料である。

◀第二三七号（大正一三年九月号）



植民先駆者

佐藤 吉郎

小説

第三七号（大正一三年九月号）

海外發展問答

▼第三七号（大正一三年九月号）

发展問答

▼第三七号（大正一三年九月号）

返信希望者卅錢封入▲

一名五問以内のこと▲

問

▼第三七号（大正一三年九月号）



◀第二三〇号（大正一三年二月号）

植民先駆者

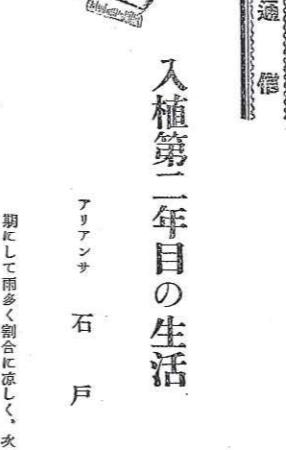
佐藤 吉郎

小説

第二三〇号（大正一三年二月号）

植民先駆者

第三〇号（大正一三年二月号）



アリアンサ 石戸義一

海 外 通 傳

植入第一年目の生活

第三〇号（大正一三年二月号）



三〇

第三〇号（大正一三年二月号）

第三〇号（大